

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

第 58 巻第 10 号 通巻第 2743 号

第 2755 回 例会

2016 年 (平成 28 年) 10 月 25 日

12:30 点鐘 東金商工会議所 4 階例会場

2016~2017 年度

国際ロータリーテーマ

人類に奉仕するロータリー

国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

第 2790 地区ガバナー 青木 貞雄

第 6 分区ガバナー補佐 河野 知宏

東金ロータリークラブ会長 小林 信雄

〃 幹事 秋葉 芳秀

〃 広報委員長 長尾 邦俊

東金ロータリークラブ 概要

Togane RC Information

創立 1959 年 9 月 15 日

R I 承認 1959 年 10 月 17 日

例会日 火曜日 12:30~13:30

例会場 東金商工会館 4 階

Makeup fee ¥2,000

WEB <http://www.togane-rc.jp/>

事務所 〒283-0068

千葉県東金市東岩崎 1-5

東金商工会議所内

TEL 0475-52-1101(代)

FAX 050-3730-2559

E-mail info@togane-rc.jp

Program

開会宣言・点鐘	小林 信雄 会長
歌	「それこそロータリー」
四つのテスト唱和	秋葉 芳秀 幹事
お食事	かくじゅう
会長挨拶	小林 信雄 会長
幹事報告	秋葉 芳秀 幹事
委員会報告	
卓話	古川 浩一 様 (東金市副市長)
二コニコBOX発表	親睦委員会
出席報告	管理運営委員会
閉会宣言・点鐘	小林 信雄 会長



第 2754 回 例会の記録<10月18日>

会長挨拶



小林 信雄 会長

本日は菅原工芸硝子株式会社のご厚意によりまして、ここで東金ロータリークラブの例会を開催することになりました。実は私が会長になってすぐ、菅原会長に移動例会を打診しましたところ、いつでもいいよと快く引き受けていただきました。本当にありがとうございます。今日は楽しく素晴らしい例会にしたいと思います。

当社の塚本衛様への表彰状も用意しております。

クラブの本当の最長老でもある菅原会長、並びに御社に対して心より厚く御礼申し上げます。なお、最後に会長からはロータリークラブの運営に対する大所高所からのアドバイスを絶えずいただいております。これも深く感謝申し上げます。本日はありがとうございます。



幹事報告



秋葉 芳秀 幹事

○スガハラ製品を職場訪問の記念に用意しました。お持ち帰りください。

○前回の理事会の時に古川会員から、会員増強のためのプロジェクトを作ったらどうかという提案がありました。次回の理事会で諮り、1年あるいは2年の期間で、会員増強のためのプロジェクトを4ないし5名で進めていこうと思っております。その節はご協力をよろしくお願いたします。

委員会報告



高橋 邦夫 管理運営委員長

「JP12」という冊子を配布します。このたび創刊された千葉県を対象とした冊子で、この

82 ページに東金学芸高校を掲載していただきましたので、今日お持ちしました。
道の駅や金融機関で配布されているそうです。
ご参考になさってください。

表彰状・記念品贈呈

菅原工芸硝子株式会社 社員 塚本衛様に
表彰状及び記念品を贈呈しました。



※塚本 衛 様のご略歴

佐々木硝子株式会社で勤務ののち、26 年前に菅原工芸硝子株式会社へ転勤。土曜でも日曜でも会社に出てきて作品を作っています。東京都の伝統工芸士に認定されました。

塚本様 ご挨拶

素晴らしい表彰状をいただきまして、長年ガラスに尽くしてきたかがありました。
どうもありがとうございます。



会社概要説明



菅原 實 会員（菅原工芸硝子株式会社 代表取締役）

私どもの社員、塚本を表彰いただき有難うございました。

会社の概要をお話します。ここが本社で製品はすべてここで作っております。息子が代表取締役社長で、私は会長です。直営の店舗はこのファクトリーショップを含めて 9 実店舗。オンラインショップを含めて 10 店舗です。

沿革ですが、昭和 7 年に私の父が江東区で創業しました。戦後、墨田区でやっておりましたが、昭和 37 年にここに工場を作り、菅原工芸硝子として手づくりでガラス器の製造を始めたわけです。現在は東京ではつくっていません、ここだけです。

転機その① オイルショック

企業にはいろいろと転機があると思いますが、大きな転機は昭和 48 年に起きたオイルショックです。大打撃を受けまして、方向を転換しました。それまでは問屋の流通の中に入っていたのですが、自分たちが作りたいものを作って、自分で売ろうということに致しました。ですか

ら私共は基本的には受注生産は致しません。自分たちで開発したものを作っていく。企業や、アーティストとのコラボレーションで特別につくることはいたしますが、OEM（※）を含め受注生産はいたしません。

※OEM … 発注元企業の名義やブランド名で販売される製品を製造すること

従って、売れるものを自分たちで作らなければなりません。最も重要なことは人です。人に関してはさんざん苦労をいたしました。昔は職人の中心が中卒でした。昭和30年代後半、高度経済成長に伴って中卒は「金の卵」と言われ、集めるのに大変苦労しました。ここに工場を作った理由も一番は人の問題だったんです。「なぜ、九十九里に？」と訊かれますが、原料がとれるわけでもない、唯一、人の問題でありました。東京では中々人が得られなくなった。ここの方が人が得やすいだろうというのが、実際でした。

そして中卒を中心に採用はできましたがなかなか定着しない、その後高卒中心となりましたが定着しません。

転機その② チェコの技術者との交流

大きな転機は昭和63年4月チェコスロバキアより「吹き」及び「クラヴィール」の最高技術者を招きました。アーティストに近いような職人で、ものすごい技術を持っていて、皆感嘆したわけなんです。彼に「ガラスを作るのに、何が一番重要な事か」と聞きましたら、「インタレスト（興味）だ」ということなのであります。私は本当に目からうろこという感じで「そうか、興味があればできるんだ」と思いました。当時のチェコスロバキアは社会主義国です。頑張ったって収入が上がるわけでもない。その中で、毎朝5時に工場へ行って練習するんだ、と言う

ことでした。それほどガラスづくりに一生懸命になるのは何だろうと思いましたが、「インタレスト」だと。そうか、興味があれば頑張れるんだと気が付きました、今考えれば当たり前のことですが、興味のある人を集めようということで、求人対象を高校から美術系の専門学校や美術大学の学生に絞りました。

美術を学ぶ学生はアーティストになりたいのかと思っていたのですが、「職人になりたい」という学生が沢山いるのにびっくりしました。今は求人活動を殆どしていないんですけれど、全国からモノづくりがしたいという人が集まって来てくれ、相当厳しく選考できるようになりました。人集めに苦労した昔から考えると夢のよう、私共の宝は人です。



世界のどこにも無いものを作る

新しいもの、世界にないものを作っていこう。それがないと私共は生きられません。コストの面から考えたら、中国やベトナム、ポーランド、ハンガリーでも作っています。コストでは太刀打ちできません。ですから、彼らが作れないような、世界に全く無いものを作っていくことが、私どもの生きる道です。そのために昭和49年に社内に開発研究会を作りました。職人、営業を含めてみんなで作りだそうと、しゃにむに開発

を行いました。30年以上、毎年200点ぐらいの新製品を出していますが、これが私共の力があります。そしてその中心は職人であります。私共にはデザイナーはいません。デザイナーにデザインを頼むことも致しません。社員誰でも提案できる中であって、職人がその中心であります。

何故かと言うと、ガラスについては、デザイナーでは本当に新しいものは生まれないと考えています。ガラスは液体ですから、どんな形にもなる可能性がある。けれども一瞬のきれいな姿をどうやって見つけ、具体化するかということなんです。これはもう職人にしかできないのであります。デザイナーの頭に描けるものだったら、絶対どこかにあるわけなんです。職人にしか見つけられないような表情を製品に反映させていこう、本当に職人が宝なのであります。

いま開発の責任者をやっている職人は、当社としては珍しいケースなんですが地元福俵出身なんです。三宅さんから「こういうのが行くから、頼むよ」と連絡がありました。通常の選考で優秀だったので、採用しました。まだ入って十二、三年ですが非常に燃えてまして、先頭に立って頑張ってくれている。非常にありがたいなあと思っております。



世界でも珍しい女性職人がいる工場

これから工場を見ていただきますけれども、いわゆる職人の世界とはちょっと景色が違うかなと思っております。若い人が多い。それから女性の職人もいます。女性の職人というのは世界でも非常に珍しいんです。皆さんの中にはベニスに行かれて工場を見学された方もいると思います。ベニスには女性の職人は一人もいません。チェコとの職人の交流を行ってきましたが、女性の職人に彼らはびっくりしていました。



工場では職人がチームを組んで製作をする

女性は素晴らしいです。感性も素晴らしいし、女性は消費者の立場でもあるんです。非常に開発にも頑張ってください。しかし女性特有のいろいろな問題もあります。結婚、出産という問題があって、残念ながら、辞めざるを得ないということが起きてまいります。ですから女性ばかりになっても困るんです。実際に、純粋に選考をしますとほとんど女性になってしまいます。しかし、相当肉体労働的な部分もありますから女性だけでは成り立たない、その辺が、なかなか難しいところであります。

これから工場を見学していただき、若い人たちが頑張っている姿を見ていただきたい。ものすごい過酷な仕事ですよ。綺麗な仕事ではありません

ませんし、真夏には 45℃にもなるという所で仕事をするんですから、大変なことです。さっきも言いましたように、そんな中でも興味があるからできるんです。休みの日に、賃金が出なくても来ると言う。興味がないとできません。8時から始まるんですが、6時半ごろからけっこう若い人たちも出てきます。それはもう、興味以外の何物でもない。そういう人たちが支えになっています。「今の若い者は」と言われますけれども、本当に頑張る、頑張れる若い人たちも沢山いるんだということは、嬉しいことです。そんなところもご覧いただければ有難いと思います。



小林会長がグラスを作っています ↓完成品です



工場見学



夏は 45℃にもなるという工房。この日も暑かったです



欠席・Makeup の連絡は、前日までに（緊急の場合は当日 10 時まで）事務局宛に、電話・FAX・Eメールにてお願いします。メーカー先への事前連絡もお忘れなく。

電話 090-7634-7175 / FAX 050-3730-2559
Email: info@togane-rc.jp

出席率 10月18日

会員数	出席率	ニコニコ BOX
18名	93.75%	0円